

三井物産環境基金 2013年度 活動助成 助成案件一覧

分野	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
気候変動	特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会	理事 土器屋 由紀子	地球大気環境保全に向けた富士山測候所の戦略的活用計画(その2)“世界に開かれた日本—ハイレベルな研究・教育拠点”としての富士山測候所の再生	富士山測候所の一部を、夏期2か月間、研究・教育施設として、越境大気汚染の観測など富士山でなければできない研究・教育活動のために開放する。具体的には、①PM2.5などの越境大気汚染、宇宙線放射線、夏季雷直近観測や永久凍土、高所医学などの研究活動支援、②中高生を対象とした山頂の理科実験室の開催、③国際山岳利用シンポジウム企画・準備を行う。	3年	¥17,928
気候変動	特定非営利活動法人 気候ネットワーク	主任研究員 豊田 陽介	低炭素社会づくりのための環境教育モデルスタンダード地域展開	これまで京都市で実施してきた小学校高学年向けの地球温暖化防止環境教育プログラムを発展させ、地域団体や自治体等と連携しながら他地域に展開する。プログラムの実施を通じて、地域の子どもたちや家庭の環境意識を向上させ、環境行動を広める。具体的には、夏休みまたは冬休みにおける子ども版環境家計簿づくりをプログラムの中心に据えて、温暖化防止のための行動を学ぶ事前学習会と、休み期間中を振り返って共有する振り返り学習会を行う。	3年	¥7,000
気候変動	特定非営利活動法人 AICA	代表理事 白川 麗子	カンボジア国カンダール州における持続可能な農業技術支援及び環境教育事業～国際エコロジカルヴィレッジセンターを中心とした環境モデル地区の創造をめざして～	持続可能な農業技術研修(コメの収穫量が2倍になるSRI農法等)と環境教育をカンボジアの30村300世帯に提供する。各村に農業及び環境リーダーとして「村落普及員」を育成する。中心の村の寺子屋の一角を国際エコロジカルヴィレッジセンターとし、啓発パネルを展示する。文字の読めない人に配慮した絵のマニュアルと絵本を作成し、ノウハウを村に残して持続可能性を高め他の地域への自立発展性を確保する。結果として、現地住民の生活水準と環境意識の向上を目指す。	2年	¥4,237
水産資源	特定非営利活動法人 パルシツク	スリランカ担当 西森 光子	スリランカ国ジャフナ県での持続可能な漁業を可能にする養殖導入事業	スリランカ北部の中心地ジャフナ県で、地域にあった養殖事業を導入・実施し、地域の漁業の多様化を図ると同時に、漁民の収入を安定化させる。また、養殖事業の実施と並行して、漁民に水産資源保全についてのワークショップを実施し、漁民が持続可能な漁業のあり方について学び、知識を得られるようにする。さらに、3年間の活動の成果をスリランカの漁業関係者に広く知らせるための報告会の開催およびリーフレットを刊行する。	3年	¥10,000
水産資源	Turkish Marine Environment Protection Association	Project Coordinator Ms. Çağıl Yetim	“SUSTAINABLE MARINE LIFE and ECOSYSTEM” 「持続可能な海洋生物および生態系」	トルコのイスタンブール近郊において、就学前児童や小中学生を対象として、海岸線の保護、海洋生物の未来、海洋汚染に関する意識啓発のプロジェクトを実施する。プロジェクトでは、まず教師を対象として、沿岸地域や海洋汚染の状況、海洋生物の保護の重要性、水の保全などに関するトレーナー研修を実施する。次に教師が教室で生徒に研修で得た知識を共有し、生徒たちに海の保護や海洋生物などを主題とする実験やドラマなどのプロジェクトを開発してもらい、子どもたちの意識啓発を推進する。	3年	¥19,554

三井物産環境基金 2013年度 活動助成 助成案件一覧

分野	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
表土森林	特定非営利活動法人 蔵王のブナと水を守る会	理事長 白内 恵美子	自然観察路整備事業	植林活動を進めていた蔵王での育林活動を進めながら、広葉樹への森への変遷を観察し、自然に親しむことができるように自然観察路を整備する。また、一般の人にも自然観察等に参加してもらい、自然への理解を深めてもらい、地域の憩いの場となるようにしていく。	2年	¥1,600
表土森林	公益社団法人 オイスカ	専務理事 永石 安明	海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画(広葉樹部門)	海岸林を自然環境や農業・産業・生活を守る重要なインフラと考え、国や自治体等で策定される復興計画等と調整を図りながら、100ha相当の海岸林・内陸防風林等の育苗、植栽、下刈・除伐・つる切りまでの保育を含む「海岸林再生プロジェクト10ヵ年計画」を、地域住民・国内外の支援者と共に実施する。また将来にわたって、地域社会によって森林保全活動が持続され、市民に親しまれる海岸林となるための基礎づくりを行う。	3年	¥12,000
表土森林	特定非営利活動法人 地球の緑を育てる会	理事長 矢部 健	被災地植樹活動に必要な苗木供給のための育苗施設の拡張と増産体制の確立	地理的に気象的に自然災害を免れることが出来ない日本国において、地震、津波、土砂崩れに強い常緑広葉樹による環境防災林の必要性は年々増大している。良質な苗の提供や植樹活動を通して、森林の増大に貢献し、緑の防潮堤や神社林の再生など、被災地において拡大する植樹ニーズに適切に対応し、被災地の復興に貢献する。更に、これまでの活動で培ったネットワークを活かして情報を把握しつつ、東北産の種を育苗、需要増大する常緑広葉樹の森づくりに貢献し、市民でも出来る森づくりのノウハウを全国的に伝播していく。	3年	¥7,000
生物多様性	一般社団法人 バードライフ・インターナショナル・アジア・ディビジョン	研究員(海洋・海鳥保全担当) 佐藤 真弓	極東ロシアにおける海鳥の重要生息海域の選定と保全への活用	極東ロシアにおける持続的な海洋・海鳥の保全の枠組み作りを将来的な目標として、ロシアの鳥類保全NGO(バード・ロシア)と共同で、海鳥の重要生息海域(マリーンIBA)の選定と目録の出版を行う。具体的には、同地域における海鳥の情報を収集して、情報をもとにマリーンIBAの選定を行い、さらにIBAの情報を出版物としてまとめ、同地域における海洋・海鳥の保全への関心を高めていく。	2年	¥7,176
生物多様性	公益社団法人 日本環境教育フォーラム	職員 臼杵 裕之	カンボジアにおけるオオヅル及び生息地の保全に関する環境教育・普及啓発事業	カンボジアKampot州Kampong Trach地域の住民を対象に、オオヅル及びその生息湿地の保全に関する環境教育プログラムを作成し普及させる。対象地のラムサール条約への登録支援を通して、生物多様性の保全を達成することを長期的な目標としている。具体的には、対象地域にある小学校全3校を対象に、本教材を活用した環境教育プログラムを実施する。成果は地域住民で共有し、地域全体のオオヅル保全に対する関心を高める。	3年	¥7,999

三井物産環境基金 2013年度 活動助成 助成案件一覧

分野	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
生物多様性	特定非営利活動法人 いしのまき環境ネット	事務局長 川村 久美	被災地緑化に向けた 地元産苗の安定供給の基盤づくり	宮城県石巻市で津波被害の大きかった沿岸に防災を兼ねた緑地を実現するため、苗木を管理出来る人材の育成と育苗拠点の基盤整備を行い、年間2万本の苗木を育てる。地域の専門家の協力の下、自生種の親木を探し、夏季に6回、冬季は月に2回種拾いを実施する。併せて、自然学習会やワークショップを適宜開催し人々の交流を促す。	2年	¥7,000
持続可能	特定非営利活動法人 日本ハビタット協会	事務局長 伊木 常昭	ラオスにおける植林による環境保全事業	ラオス国ルアンパバン県における環境保全を目的として、自治体、給水公社、住民と協力して植林を行う。さらに、学校において種から苗木を育成し育った苗木を山へ移植していくことで持続可能な植林活動を促す。森林面積が40%に減少している課題に取り組むとともに、住民に対して環境保全の意識を高めるワークショップを行い、住民自らが環境保全活動を行える基盤を構築する。	3年	¥7,231
持続可能	特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会	企画事業部長 高砂 樹史	環境教育 & 社会貢献ツーリズム確立事業～都市と島の持続可能な共生社会を創造する	過疎化・少子高齢化の進行が止まらない外界離島小値賀町において、震災を機に都市部で広がる「地方で学び、貢献したい」という要望にこたえられるような「環境教育・社会貢献ツーリズム(学び行動をする旅とその事業化)」を実践する。具体的には、島の抱える自然環境(水産資源の枯渇)や少子高齢化の社会問題の対策に、島の外からの参加を盛り込むことで、「参加するだけで小値賀の自然環境及び社会問題を学び、その解決のために資することができる」新たな教育プログラムを開発する。	2年	¥10,000
持続可能	MERCY HOME FOR CHILDREN	MICHAEL DEGROTTOLE, SR. DIR.	PLANT, GROW, GIVE (植える、育てる、与える)	発達障害者患者に対し、アーバンガーデン(都市菜園)で作業をするための教育訓練を実施し、コミュニティへの参加を促す。ニューヨークのブルックリン、クイーンズ、ナッソーで、高齢者や母子家庭・父子家庭に健康的な食事を提供する地元の給食施設と連携し、都市菜園での栽培、収穫、収穫物の納入を発達障害患者が自ら行うプログラムを実施する。	2年	¥3,507
持続可能	国立大学法人 和歌山大学	教授 加藤 久美	環境精神文化復興による持続可能な社会の構築:福島県相馬郡飯館村の自然信仰	飯館村で今年焼失した山津見神社のオオカミ信仰を、地域固有の環境精神文化ととらえ、住民への聞き取りから自然との共生理念の根源を探る。 具体的には、飯館からの避難住民のうち、県内9カ所の仮設住宅での居住者を中心に、山津見神社のオオカミ信仰他、関連する日常生活内の自然信仰について聞き取り調査を行う。天井絵は撮影済み写真を元に、地元アーティストを公募して復元、国内外での展示会を催す。展示では地域住民の環境観、精神文化についての記述に福島出身の詩人による作品を紹介し、避難地の現状、その環境精神文化の認識を高めることで、復興支援の一助とする。	3年	¥6,500

三井物産環境基金 2013年度 活動助成 助成案件一覧

分野	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
持続可能	特定非営利活動法人 ボランティア・アーキテク ツ・ネットワーク	副理事 原野 泰典	福島県相馬市児童福祉施設における野菜の水耕栽培を通じた情操教育と地域住民と連携したその運営の実践	福島県相馬市で建設が予定されている児童福祉施設を利用する被災児童ため、野菜の水耕栽培プラントを提供する。子どもたちが、野菜の生育から収穫、調理し食するまでを一環して学ぶことで情操教育へとつながる機会を提供する。また施設の運営は地元団体が主体となり、地域住民も参加して協働で野菜の収穫までを行い、穫れた野菜を利用した料理教室なども開くことで、本施設が地域で持続的に使われる仕組みづくりを行っていく。	3年	¥5,000
持続可能	一般社団法人 みどりの東北元気プロ ラム実行委員会	代表理事 八木 信行	みどりの東北元気プログラム	福島県及び宮城県の豊かな自然環境の中で達成感(マスタリー)のある体験プログラムを実施することで、参加する子どものこころのケア(日常のストレスやPTSD対応)を行うとともに持続可能な社会の構成者となるための子供の自立を目指す。このプログラムは野外活動指導者と心理・医療チームが連携して実施している。プログラムを通じて、日常のストレスやPTSDを抱える子供たちを支援することができる専門性を持った支援者の人材育成を行う。	3年	¥9,990
持続可能	特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセ ンター	現地事業統括 山崎 哲	気仙沼市浦島地区における、生活の再建・自治機能の回復・持続可能な地域社会の実現に向けた仕組みの構築	気仙沼市鹿折にある浦島地区において、建築・まちづくりの専門家を招聘した勉強会などを通じて高台移転参加者の住宅再建及び住みよい高台団地の形成をサポートする。同時に既存集落の住民と高台移転参加者が集う場を設け、両者が新たな集落において、一体感を持って新しい集落の在り方を検討し、自治機能を回復させられるように支援する。さらに過疎化に直面する地域における地域資源を生かした活気ある地域づくりを住民とともに目指す。	3年	¥15,000
持続可能	一般社団法人 SAVE TAKATA	代表理事 佐々木 信秋	岩手県陸前高田市における米崎りんごを活用した雇用創出復興事業	岩手県陸前高田市の産品である「米崎りんご」の販売拡大を通じて、地元農家や加工業者等の就労者の継続雇用を可能にし、地域経済の一助とする。地元の加工業者等と協働で商品開発を行い、ネット販売や物産展などで販路拡大を図る。さらに無業の若者向けに、就農体験プログラムを地元農家と協働で実施し、農家の後継者や若者の新規就農者、移住者を増加させ、地域の復興と発展に寄与する。	1年	¥2,500
持続可能	特定非営利活動法人 都市農村交流推進セン ター	理事 事務局長 大塚 秀光	被災地住民に対する環境負荷の少ない点滴養液栽培の技術支援	全村避難している福島県飯舘村の農家の空ハウスを借用し、小型の点滴養液栽培の実証施設を設置する。栽培マニュアルの作成や、設置した実証栽培施設での育苗から定植、育成、管理、収穫に至る一連の栽培プロセスを通して、避難生活を余儀なくされ職を失った地域住民に対して技術支援を行う。帰村時の新しい農業モデルを提供するとともに、住民同士の交流を深めることを目的とする。	3年	¥3,990

合 計： 20件

165,212千円